

# 平成 19 年度農業農村工学会資源循環研究部会

講演会・研究発表会 ～水・バイオマス資源の循環利用技術の展開～

## プログラム

2007年10月26日（金）

東京ビックサイト

国際会議場 6F 609号室

### 1 開会（10:00）

10:00 研究部会会長あいさつ 石川県立大学教授・京都大学名誉教授 高橋 強

### 2 講演会（10:10～11:00）

10:10 基調講演「資源循環と日本農業」

講師：東京農業大学 客員教授 増島 博

11:00 講演「デンマークの食料とエネルギー自給率に貢献する

バイオガスプラント」

講師：S.R.A、「風のがっこう」主宰 ケンジ・ステファン・スズキ

12:00 昼食（60分間）

### 3 技術報告（13:00～14:00）

13:00 「超微細気泡メンブレンディフューザーの開発及び実証試験結果」

ダイセン・メンブレン・システムズ(株) 平川 圭一郎

13:15 「ノロウイルスに対する紫外線の不活化効果」

岩崎電気(株) 岩崎 達行

13:30 「焼酎粕からのエネルギー回収」

(株)タクマ 河野 孝志

13:45 「バイオディーゼル燃料製造技術の現状とその将来性について」

(株)ダイキアクシス 伊藤 正隆

4 研究発表 (14:00~16:40)

- 14:00 「汚泥層からの大腸菌群及び有機物の流出防止対策の考察  
—汚泥層による硝酸性窒素汚濁水の浄化技術の確立にむけて—」  
(独) 農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所 山岡 賢
- 14:20 「汚泥量調整機構の概要と課題」  
(社) 地域資源循環技術センター 池谷 和哉
- 14:40 「小規模で高度処理型の FRP 製農業集落排水処理施設の開発  
—中空系膜分離装置を用いた JARUS-F<sub>II</sub> 型の開発—」  
(社) 地域資源循環技術センター 小西 美智孝
- 15:00 「ハイブリッド伏流式人工湿地による酪農雑排水の浄化と  
飼料用稲の栽培による資源リサイクルの可能性について」  
北海道大学大学院農学院 吉友 郁哉
- 15:20 「メタン発酵技術を用いた小規模バイオマス利活用システムの開発」  
(社) 地域資源循環技術センター 二階 靖樹
- 15:40 「バイオマス利活用施設に係る技術情報データベースの構築」  
(社) 地域資源循環技術センター 武田 史人
- 16:00 「地域バイオマスを共発酵処理したバイオガスプラントの生成物の特性と  
曝気スラリーの土壌改善効果」  
(独) 土木研究所寒地土木研究所 横濱 充宏
- 16:20 「バイオガスからの水素製造と地域におけるエネルギー利用」  
(独) 土木研究所寒地土木研究所 大久保 天

5 審査及び部会長賞の授与 (16:40~16:55)

6 閉会 (16:55)

## 参 考

### ケンジ・ステファン・スズキ氏の紹介

S.R.A デンマーク、「風のがっこう」代表

1944年 岩手県生まれ

1967年 青山学院大学3年中退、デンマーク入国

1968～70年 コペンハーゲン大学政治経済学部で学ぶ

1971～79年 在デンマーク日本国大使館勤務の後、農場経営

1979年 デンマーク国籍取得

1986年 デンマークの風力発電機、バイオマスプラントを日本に普及させる事業を手掛ける

1997年 「風のがっこう」を設立。デンマークの風力発電、バイオマスプラント、環境教育の視察に訪れる日本人のための研修施設として運営開始

2002年 京都府の丹後半島にある弥栄町に「風のがっこう京都」を町営の環境教育施設として開講、運営に協力に入る

2004年 「風のがっこう栃木」と業務提携、研修業務の支援に入る

著書：「デンマークという国 自然エネルギー先進国」の著者紹介より